

(1) バトさんは、もう来た。

a. Bat ir-čix-sen.

バト 来る-〈完遂〉-〈過去〉

b. Bat ir-čix-lee.

来る-〈完遂〉-〈近過去〉

「もう～した」を表すには、接尾辞-čix-と過去時を示す語尾を用いる。-čix-はアスペクト形式の一つで、動作を完全に遂行することを表す。「もう」にあたる副詞がなくてもよい。もし、副詞句を用いるとすれば、a.に al' xediin「すでに、もう」が使える。b.には、使えない。

(2) バトさんは、もう来ている。

Bat ir-čix-eed bai-na.

バト 来る-〈完遂〉-〈連用〉 いる-〈現在〉

「もう～している」は、「分析的アスペクト形式-eed bai+時制語尾-na」の形で表し得る。接尾辞-čix-を伴うことが多い。ただし、この形式の用法は、「動作完結後さほど時間が経過していない」場合に限られる。そうではない場合の「もう来ている」に対しては(1)の a.が適する。なお、(18)を参照。

(3) バトさんは、まだ来ていない。

Bat ir-ee-güi.

バト 来る-〈過去・現在〉-〈否定〉

「まだ～していない」が、-eegüi という形式で表される。-ee は、現在時と過去時の両方を指し得る語尾。-güi は、否定辞。すなわち、発話時以前から発話時に至るまで「来る」動作が実現していないことを示している。「まだ」にあたる副詞はなくてもよい。(8)参照。

(4) バトさんは、まだ来ない。

a. Bat odoo boltol ir-(e)-x-güi bai-na.
バトいままで 来る-〈現在〉 - 〈否定〉 ある-〈現在〉

b. Bat odoo boltol ir-deg-güi.
来る-〈習慣〉 - 〈否定〉

「長く待っているのに来ない」といった話し手のある種の苛立ちのきもちを含む発話には、a.とb.の表現が使われる。bは、習慣あるいは恒常性を表す-dagの否定形を用いて、「まったく来ない」というきもちを強調的に表したもの。(13)参照。

(5) バトさんは、もうすぐ来ます。

Bat uda-x-güi ir-ne.
バトまもなく 来る-〈未来〉

現在・未来の終止語尾-neの未来用法。

(6) (あつ,) バトさんが来た。

a. Bat ir-čix-lee.
バト来る-〈完遂〉 - 〈近過去〉

b. Bat ir-j bai-na.
バト来る-〈連用〉 いる-〈現在〉

その人が来るのに気づいた場面での発話としてa.bが可能。aは、(1)のbと同じ形。なお、ここでは(1)のaの形は使えない。bは、現在時制の進行アスペクトを用いた表現。(11)参照。

(7) おとといバトさんが来たよ。

Urjigdar Bat ir-sen šdee.
おとといバト来る-〈過去〉よ

単純な過去形は、話しことばでは、動詞語幹+語尾-sanの形。-senは母音交替形。

(8) バトさんは、おととい来なかったよ。

a. Bat urjigdar ir-ee-güi šdee.

バト おととい 来る-〈過去〉-〈否定〉よ

-eegüi という形式は、文脈しだいで、「しなかった」と「まだししていない」のどちらの意味をも表しうる。(3)参照。

単純なく過去の否定は a. の表現になるが、ある条件付きの文脈・場面では、同じ「しなかった」をあらわすのに、下の b. の形を用いる。

b. Bat urjigdar ir-sen-güi šdee.

バト おととい 来る-〈過去〉-〈否定〉よ

-sengüi は、話し手・聞き手双方がその出来事の生起を予測あるいは期待していたのに実現しなかった、というような場合に使われる。

(9) 私はあのリンゴをもう食べた。

Bi ter alim-ig id-čix-sen.

私 あのりんごを 食べる-〈完遂〉-〈過去〉

動詞の自・他による完結相/未完結相の区別はない。

(10) 私はそのリンゴをまだ食べていない。 / まだ食べない。

Bi ter alim-ig odoo boltol id-eegüi. / odooxondoo ide-x-güi.

私 そのりんごを 今まで 食べる-「していない」/いまのところ 食べる-〈現在〉-〈否定〉

(11) あの人はいまそのリンゴを食べている。

Ter xün odoo ter alim-ig ide-j bai-na.

あの 人 いま そのりんごを 食べる-〈連用〉 いる-〈現在〉

進行形は、日本語の「ている」の形に似ている。「て」に相当する-j と「いる・ある」を表す動詞 bai-をくみあわせた形。補助動詞として用いられた bai-に現在時を示す-na を付けて「(いま) しているところだ」を表す。

(12) a. 窓が開いている. / b. 窓が開けてある.

Conx ongorxoi bai-na. / Conx ongoi-lgo-son bai-na.

窓(が) あいている ある-〈現在〉 / 窓(を) 開く-〈他動詞化〉-〈過去〉ある-〈現在〉

a.には動詞のアスペクト形式は用いない。「開いている状態にある」という意味の形容詞で表現する. この文の baina は, 話し手の発話時における確認のきもちを表す.

なお, ongorxoi は自動詞 ongoi-「開く」の派生語. この動詞の他動詞形の過去形+baina で「窓を(誰かが)開けた結果が存在することを話し手が確認している」=「窓が開けてある」という表現にしたのが b. .

(13) 私は毎朝新聞を読む.

a. Bi öglöö bolgon sonin unš-dag.

私 朝 毎に 新聞 読む-〈習慣〉

習慣を表すアスペクト形式は, -dag. unš-dag の日本語訳は「読んでいる」も可.

b. Bi öglöö bolgon sonin unš-(i)-j bai-na. 「毎朝新聞を読んでいる」

私 朝 毎に 新聞 読む-〈連用〉いる-〈現在〉

現在時制の進行アスペクトを用いて, 習慣的動作をあらわすこともある. (4)参照.

(14) あなたはお母さんに似ている.

Ta eej-tei-(g)-ee adilxan bai-na.

あなた 母-と-〈再帰〉似ている ある-〈現在〉

「似ている」は, 形容詞で表現する. 文末の baina は, 話し手の発話時における確認のきもちを表す.

(15) 私はその頃毎日学校へ通っていた.

a. Bi ter üye-d ödörbür surguul'-d yav-dag bai-san.

私 その頃-に 日 毎に学校-に 通う-〈習慣〉ある-〈過去〉

過去の習慣的動作は, 習慣・恒常性の語尾-dag と存在動詞の過去形 baisan のくみあわせで表す. 過去時を表示する語尾を-laa に取り替えると, 回想のニュアンスが強く

なる。(1)では-laaの母音交替形-leeの<近過去>用法をみたが、存在動詞baiに付いた場合は特別で、<近過去>の意味になることはなく、必ず<回想過去>になる。

b. … surguul'-d yav-dag bai-laa. 「… 学校に通っていたなあ」

(16) 私はモスクワに行ったことがある。

Bi Moskva-d oči-j bai-san.

私 モスクワ-に 行く-〈連用〉 いる-〈過去〉

進行アスペクトの形式-j bai-に過去時を示す語尾-san を付けた形が<経験>の表現として使われることがある。

(17) やっとバスは走り出した。(走り始めた)

Saya l avtobus yav-j exel-lee.

やっと〈強調〉バス 走る-〈連用〉 始まる-〈近過去〉

開始的アスペクトの表現には、「始まる・始める」という意味の動詞 exel- (自・他両用動詞) を補助動詞として用いる。

(18) きもう彼女はずっと寝ていた。

Öčigdör ter ödörjingöö unt-aad l bai-san.

きもう 彼女 一日中 寝る-〈連用〉 〈強調〉 いる-〈過去〉

長い継続の表現には、話しことばでは、アスペクト形式-aad bai-を用いる。この形は文脈により、<継続>と<結果存在>という2通りの意味を表しうるが、継続を表す場合は、強調辞lを伴うことが多い。

(19) 私はそれをちょっと食べてみた。

Bi tüün-iig jaaxan ide-j üz-lee.

私 それ-を すこし 食べる-〈連用〉 見る-〈近過去〉

試行的なアスペクトの表現には、「見る」を表す動詞 üz-を補助動詞として用いる。

(20) あの人はそれをみんなに分け与えた。

Ter xün tüün-iig xümüüs-t xuvaa-j ög-sön.

あの 人 それ-を 人たち-に 分ける-〈連用〉 与える-〈過去〉

目的語が多くのもをを表す場合でも単独のもをを表す場合でも動詞の形は同じ。

(21) さあ、行くよ！

Za yav-laa šüü!

さあ行く-〈近未来〉 よ

近い未来の動作を表すのに、近過去用法をもつ終止語尾-laa を用いることがある。

(22) 地球は太陽の周りを回っている。

Delxii nar-ig toir-dog.

地球 太陽-「を」まわる-〈習慣〉

恒常的な真理の表現には、習慣・恒常性を表す語尾-dag を用いる。(13)参照。-dog は母音交替形。なお、動詞 toir-は「一を周回する」の意。

(23) あの木は今にも倒れそうだ。

Ter mod yu yugüi una-x n'. / … unax n' ee.

あの 木 何 何-〈否定〉 倒れる-「一しそうだ」

「一しそうだ」の表現には、話しことばでは、未来時を示す語尾-x に小辞 n'を付けた形を用いる (-x n' ee は強調形)。yu yugüi は「いまにも」の意の慣用副詞句。

(24) あやうく転ぶところだった。

a. Zoltoi l una-čix-san-güi.

運よく〈強調〉倒れる-〈完遂〉 - 〈過去〉 - 〈否定〉

b. Yag una-x šax-laa.

まさに 倒れる-〈未来〉 近づく-〈近過去〉

b.よりも a.のほうがよく使われる。a.は、「運よく倒れてしまわなかった」という表現で、b.は、「まさに倒れることに近づいた」という表現。

(25) あすお客さんが来るのでパンを買っておこう。

Margaas̄ zočin ir-(e)-x yum čin' talx av-čix-(a)-ya.

あす 客 来る-〈強調〉の で パン買う-〈完遂〉-〈意思〉

「ーしておく」の表現には、補助動詞は用いない。動作を完遂することを表す接尾辞 -čix- を動詞語幹に付けた形を用いる。日本語の「置く」にあたる動詞 tav'- を使うことはできない。ちなみに、「置いておこう」をモンゴル語では、tav'-čix-(a)-ya という。

(26) 私は市場に行ったとき、この袋を買った。

Bi zax deer yav-j bai-x-d-aa ene uut-īg av-san.

私 市場上で歩いて いる-〈現在未来〉-に-〈再帰〉 この袋-を 買う-〈過去〉

主節と従属節の時制は一致しない。主節の動詞が過去形であるのに対して、従属節の動詞には現在・未来の語尾-x が使われている。

(27) 私は市場に行く前に、この袋を買った。

Bi zax yava-x-aas ömnö ene uut-īg av-san.

私 市場(に)行く-〈現在未来〉-より まえに この袋-を 買う-〈過去〉

時制の一致はない。主節の動詞は過去形、従属節の動詞は現在・未来形。

(28) 私は彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた。

Bi tüün-iig zax-aas ene uut-īg av-san-īg n' med-sen bai-san.

私 かれ-を 市場-から この袋-を 買う-〈過去〉-を 〈3人称再帰〉知る-〈過去〉 いる-〈過去〉

文末の bai-san が絶対過去を示し、med-sen が相対過去を示している。従属節の主語が一部対格で示されることがある。